

奈弓連だより

通巻 186号

平成 29 年 8 月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 土谷尚敬 野尻賢司

日本武道館で第1回都道府県対抗弓道大会が開催 奈良県は惜しくも決勝進出ならず

7月18日(火)、記念すべき第1回都道府県対抗弓道大会が日本武道館で開催されました。この大会は「国内における弓道競技力の向上、弓道の普及及び加盟団体相互の親睦を図る。」を目的とし、全日本弓道連盟の主催で開催されることになったものです。開会式では、高円宮妃のご臨席があり、また柴田猛前会長の巻藁射礼が行われ、大いに盛り上がりました。

奈良県選手は、新子・林・衛藤・奥戸・山本(立順同)で参加してきました。前日に新幹線で移動。途中、富士山は曇りのため見えず…東京に到着し、そのまま武道館を下見し、当日をイメージしました。

武道館は思っていたより狭い印象で、フロア全体を使って4射場20的が設置されていました。また、空調が抜群で快適に弓が引ける会場でした。



柴田 猛 全日本弓道連盟 前会長による巻藁射礼

いよいよ本番。47チーム中、上位16チームが決勝トーナメント進出となります。奈良県は17番5立目、第一射場。入場してから長々と第一射場まで歩き、「始め」の合図！結果は10中。予選を通過することができませんでした。全体では13中以上が決勝トーナメント進出の競射となり、競射では3中以上が決勝進出となる結果でした。

決勝に進むことが出来なかったため、帰る前に靖国神社に参拝して帰路につきました。

今回、初の全国大会となった都道府県対抗弓道大会。1チーム5人中3人が50歳以上という今までにないチーム編成となりました。全国の上位入賞となったチームはやはり、50歳以上の多くが称号者で、しかも高的中していました。この慣れない環境の一発勝負という中で、いつもの射的的中をだすのが如何に難しい



第一射場で競射する奈良県選手

ことなのかをチーム一同痛感する試合となりました。そして、第一回大会ということで、会場はどう応援したらいいのかという雰囲気、制限時間30秒前の予鈴が予想外に大きなブザー音で会場からはなぜか笑いが起こったり、地元東京の応援団の応援の大きさにどよめきが起きたりと、新鮮な大会となりました。これからこの大会がどのように進化していくのか、また、国体に次ぐ全国大会となるよう願っています。因みに優勝は静岡県でした。

最後になりましたが、第1回大会に出場する名誉な機会を与えて頂いた先生方に感謝申し上げます。沢山の応援を頂きました連盟会員の皆様ありがとうございました。奈良県の入賞に貢献出来るよう、また練習に励みます。(奈良県選手を代表して 林秀子)

全日本教職員弓道選手権大会

奈良A(井戸上、土谷、西浦 選手)が準優勝

8月10日～11日の暑い中、大阪城弓道場を会場に全国から選手413名が集い、第48回全日本教職員弓道選手権大会が開催されました。

初日は団体予選(個人戦予選を兼ねる)が行われ、奈良県Aチーム(井戸上、土谷、西浦)は12射9中で第2位の成績で予選を通過。

二日目は個人戦予選(前述の3名の他 男子:松本、平木、西澤、田中、竹田、女子:平井、峯川)が行われ、男子は3中以上、女子は2中以上が決勝射詰へ。予選通過の井戸上、峯川は1本目にて、西浦は2本目にて競技を終えました。個人戦終了後、団体上位16チームによる決勝トーナメントへ。奈良Aチームは、大阪C、東京C、山口Aを破り決勝戦へ。決勝戦は岐阜Aとの戦いで岐阜6中、奈良3中で奈良Aチームは

準優勝となりました。

暑い中ではありましたが、大阪府の先生方、補助員として大会を支えてくれた高校生の姿に「感謝」の言葉しかありません。来年の大会は新潟で開催される旨の挨拶があり、大会を終えました。



準優勝した奈良 A チームの左から 西浦、土谷、井戸上の各選手
(教職員 土谷 尚敬)

奈良県臨時地連審査

初段 47 名 貳段 11 名 参段 7 名 四段 4 名合格

7月16日に ならでん (奈良市) 弓道場 において第270回臨時地連審査が開催されました。結果は次の通りです。

- 級位** 受審者 34 名 欠席 1 名 合格 30 名
(1 級 27 名、2 級 3 名、現級 3 名)
- 初段** 受審者 51 名 合格 47 名
- 貳段** 受審者 13 名 合格 11 名
- 参段** 受審者 13 名 合格 7 名
- 四段** 受審者 15 名 合格 4 名 、
多田 昌世 (奈良) 武田 則子 (奈良)
深見 友美 (奈良) 秋山 和人 (生駒)
(審査部 平木 一史)

近畿高等学校弓道大会

女子個人の部 :西 翠選手(高田商業) 4位 上山優希子選手(郡山) 5位

男子個人の部 :芳仲貴久選手(西ノ京) 4位

平成 29 年 7 月 16, 17 日に滋賀県立武道館弓道場において、第 70 回近畿高等学校弓道大会が開催され、男子・女子それぞれが個人戦及び団体戦を競いました。結果は次の通りです。

女子個人戦 予選 (8 射 5 中以上で予選通過)

- 西 翠 (高田商業) 8 中、岩口華子 (平城) 4 中
川上琴音 (郡山) 3 中、泉尾紗香 (畝傍) 2 中
上山優希子 (郡山) 7 中、徳久 唯 (高田商業) 6 中
渡邊 彩美 (橿原) 6 中、岩井 彩華 (橿原) 3 中
源 穂乃花 (法隆寺国際) 4 中、松本彩矢香 (郡山) 3 中

女子個人戦 決勝射詰め

- 西 翠 (高田商業) ○○○○×
(遠近法により 4 位入賞)
上山優希子 (郡山) ○○○○×
(遠近法により 5 位入賞)
徳久 唯 (高田商業) ×
渡邊 彩美 (橿原) ×

男子個人戦 予選 (8 射 5 中以上で予選通過)

- 芳仲 貴久 (西の京) 5 中、高井 優馬 (五條) 6 中
松田 遼大 (郡山) 6 中、鍵谷 悠喜 (榛生昇陽) 6 中
石田 侑也 (畝傍) 5 中、谷尾 敦史 (高田商業) 6 中
夷 孝浩 (橿原) 4 中、西田 友樹 (橿原) 3 中
松崎 時也 (高田商業) 4 中、福本 恭矢 (畝傍) 2 中

男子個人戦 決勝射詰め

- 芳仲 貴久 (西の京) ○○○×
(遠近法により 4 位入賞)
高井 優馬 (五條) ○×
松田 遼大 (郡山) ○×
鍵谷 悠喜 (榛生昇陽) ×
石田 侑也 (畝傍) ×
谷尾 敦史 (高田商業) ×

女子団体戦 (チーム20射・上位8校が予選通過)

- 高田商業 8 中 (徳久 唯、笠谷莉奈、上村海晴
元持紗雪、西 翠、幸田実紅)
平 城 6 中 (浦崎聡美、鈴木彩実、加井優里夏
米澤歩未、向井莉恵、上田香穂)
郡 山 12 中 (通過)
(真田愛佳、上山優希子、水内野々華
吉川和菜、横前茉奈美、川上琴音)
西の京 11 中 (同中競射 4 中・通過)
(丸尾逸稀、平松由莉、木村知永
川元幸希、小木曾美沙、澤 蛍奈)

女子団体決勝トーナメント

- 郡 山 14 中 対 京都外大西 15 中 負け
西の京 7 中 対 神島 (和歌山) 9 中 負け

男子団体戦 (チーム20射・上位8校が予選通過)

- 橿 原 8 中 (西田友樹、笠井大世、西谷 永
高橋優介、堀内達也、夷 孝浩)
西の京 9 中 (芳仲貴久、桐木つばさ、日高稜真
高間靖智、岡田大輝、白井 匠)
奈良北 8 中 (林 亮多、松本 亮、曾田悠太
本多洋希、田中大樹、岡 優馬)
畝 傍 9 中 (石田侑也、森井陸人、辻本大暉
衣川 匠、福本恭矢、野村昂希)

(高体連 藤村 佳照)

奈良県中学校総合体育大会弓道の部

団体の部 男子:大成中A、女子:香芝中Cが優勝

平成 29 年 7 月 26 日 (水) 橿原公苑弓道場において、第 68 回奈良県中学校総合体育大会弓道の部が奈良県中学校体育連盟の主催で開催されました。男子・女子それぞれが団体戦及び個人戦を、近的 12 射で競いました。

平成 29 年度の 3 年生最後の県の大会で団体または個人で優勝した選手は、東京の明治神宮の弓道場で行われる全国大会の出場権を得ました。今大会の参加者は男子 60 名、女子 102 名でした。結果は以下の通りです。

男子団体

優勝 大成A (小南、吉川、清水)
2位 天理南B (喜多、森馬、稲垣)
3位 白橿A (小谷、金原、中平)



男子団体入賞者:前列 優勝 大成A、
後列左から 2位 天理南B、3位白橿A の各選手

女子団体

優勝 香芝C (池田、北村、西川)
2位 白橿B (川田、水脇、菊池)
3位 香芝A (中井、藤原、池田)



県中学校総合体育大会女子団体入賞者:前列 優勝 香芝C、
後列左から 2位 白橿B、3位香芝A の各選手

男子個人

優勝 野澤 涼 (八木)、2位 鳥井 樹 (橿原)
3位 辰巳 聡汰 (橿原)

女子個人

優勝 森田 菜月 (橿原)、2位 濱口 ちせ (香芝)
3位 西川 舞美 (香芝)



個人戦入賞者:左から男子 優勝 野澤、2位 鳥井、3位辰巳
女子 優勝 森田、2位 濱口、3位 西川の各選手
(中体連 中前 芳一)

近畿中学生弓道大会

女子団体で県総体に引き続き香芝中が優勝

平成 29 年 7 月 30 日 (日) 大阪城弓道場において第 13 回近畿中学生弓道大会が開催され、近畿から 22 団体 172 名の参加がありました。(男子 93 名 女子 79 名)

団体の予選を勝ち抜いた男子は報徳学園 B、甲南 B、大成 A、六甲学院 A、女子は香芝 A、橿原 B、天理南 A、白橿 B で女子は奈良県が独占し、それぞれ 4 校が決勝トーナメントに進み、男子は報徳学園 B、女子は香芝 A が優勝しました。個人では奈良県の中では男子 3 位に香芝中の渡辺、女子 3 位に白橿中の川田が入賞しました。結果は以下の通りです。

女子団体

優勝 香芝A (池田朱蘭、北村莉子、西川舞美)
2位 白橿B (川田采奈、水脇さくら、菊地 凜)
3位 大成A (竹原見幸、奥田愛菜、沼田優美香)



近畿中学生弓道大会女子団体入賞者:前列 優勝 香芝A、
後列左から 3位 大成A、2位白橿B の各選手

男子団体

- 優勝 報徳学園 B (堀江晃揮、田中大夢、吉田晴喜)
2 位 甲南 B (安藤優哉、山本恵太朗、吉川恭平)
3 位 六甲学院 A (前田乃碧、小寺健介、井元周平)

男子個人

- 優勝 土井壮太 (六甲学院)
2 位 芥川武史 (甲南)
3 位 渡辺 幹 (香芝)

女子個人

- 優勝 澤田咲良 (三田学園)
2 位 内海 鈴 (四条畷学園)
3 位 川田采奈 (白樫)



個人入賞者:左から男子優勝土井、2位芥川、3位渡辺、
女子優勝澤田、2位内海、3位川田の各選手

(中体連 中前 芳一)

奈良市女子講習会開催

基本を繰り返し、ワンランク上を目指す

例年通りムシムシとした気候の中、7月17日奈良市弓道場で平成29年度 奈良市女子講習会が開催されました。今年は幅広く一級から称号までの女子会員30名が参加しました。基本を繰り返し意識しながらワンランク上を目指しましょう！と開会式でいただいた言葉を胸に受講生一同課題に向き合いました。

最初の一手行射の前に全員で安土に行き、改めて正しい的のかけ方と矢取りの仕方を確認、指導いただきました。入退場、基本動作、また女子講習会ならではの襷さばきと、着付けに今年は着物と袴のたたみ方を教えていただき、知っているようで知らないことがまだまだあると自己反省しました。

最後は持ち的射礼で、見るとやるでは大違いを全員が汗をかきかき経験しました。

暑い中、ご指導くださいました深田先生、野尻先生、岡本先生、本当にありがとうございました。

(奈良支部 辰巳好美)



奈良市女子講習会で襷さばきの指導を受ける受講生



深田先生から袴のたたみ方の指導を受ける受講生

編 | 集 | 後 | 記

第1回都道府県対抗弓道大会が日本武道館で開催されましたが、偶然上京していましたので応援に行ってきました。競技とはいえ、多くの選手がしっかりと会を充実させておられ、さすが各県の代表だと感心しました。

怪我で長期にわたり休んでおられた西浦先生が全日本教職員弓道選手権大会に出場され、団体戦で準優勝。幸先の良い復帰をされました。

庭に育ったオクラが、毎朝 清楚な花をつけます。「一輪の花も、根幹や枝から育てあげなければ花は咲かない。いわんや、馥郁たる名花は長期にわたってのあらゆる手入れと努力の累積によってほころびる。それだけに名花には香気もあり、生命もあるのです。われわれの弓射もまたかくあらねばならぬ。」(弓道教本 第一巻 57頁) 先日、弓道の先輩から、忘れていたこの言葉をいただきました。

編集担当 野尻賢司